

2025年度

大 学 院

履 修 要 項

総 合 政 策 研 究 科 編

中 央 大 学

充実した研究活動のために

この履修要項は、本大学院の法学・経済学・商学・文学・総合政策の5研究科（理工学研究科、国際情報研究科は別冊）における授業科目の履修や研究活動を行うために必要な基本項目を示したガイドブックです。

内容は、《学業に関する事項》《学生生活に関する事項》《施設・設備に関する事項》および《中央大学大学院関係諸規程等》の5研究科共通編と、《学業に関する事項》（各研究科個別事項）の各研究科編に分類されています。

5研究科共通編の《学業に関する事項》には履修の方法や修了要件が、《学生生活に関する事項》には、学籍に関する事項や研究助成制度などの学生支援システム、そして奨学金制度など充実した学生生活・研究活動を展開していくためのさまざまな事柄が網羅されています。《施設・設備に関する事項》には、大学院学生が関わる施設設備に関する情報が記載されています。そして末尾には、中央大学大学院学則をはじめとする、大学院学生に直接関連する学内諸規程等が収録されています。

また、各研究科の《学業に関する事項》には、各研究科のカリキュラムや学位論文の提出方法に加えて、学位論文審査に関する取扱要領、各研究科の学位授与方針等が収録されています。

なお、具体的な授業内容などについては、manabaで公開されている講義要項をご覧ください。

ご承知のように、近年における学術研究の著しい進展や急激な技術革新、社会経済の高度化・複雑化などは、大学院教育の役割を飛躍的に増大させつつありますが、この社会的な使命に応えていくためには、何よりも学生各自がより高度な学識や能力を身につけ、自立した研究活動を展開することが不可欠です。この要項を活用し、実り多い研究成果が得られるよう心から期待しております。

中央大学大学院

2025年度 文系大学院 学年暦・行事日程表

【法】…法学研究科 【経】…経済学研究科 【商】…商学研究科

【文】…文学研究科 【総】…総合政策研究科 【教職】教職関連

M…博士前期課程 D…博士後期課程 の学生のみに関連する事項です。

※行事日程表に記載のない行事のスケジュールについては、各研究科編の「学業に関する事項」または随時Cplus等でお知らせしますので、ご確認ください。

カレンダー									詳細																																													
全日休講日 祝日の授業実施日							日程	課程		行事予定	5研究科 共通編	各研究科編																																										
								M	D																																													
4月 April <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr><tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				1日(火)～8日(火)	○	○	学習指導期間		
							日	月	火	水	木	金	土																																									
									1	2	3	4	5																																									
							6	7	8	9	10	11	12																																									
							13	14	15	16	17	18	19																																									
							20	21	22	23	24	25	26																																									
							27	28	29	30																																												
							2日(水)	○	○	入学式																																												
							4日(金)	○		既修得単位認定申請 締切日	13頁																																											
							初旬	○	○	給付奨学金 応募締切	39頁																																											
							9日(水)	○	○	前期授業開始																																												
							9日(水)	○	○	指導教授届 提出締切	9頁																																											
							9日(水)	○		【経】基本科目選択届 提出締切		13頁																																										
							中旬	○		【教職】教員免許状一括申請手続き	22頁																																											
							11日(金)～15日(火)	○	○	履修登録期間	14頁																																											
							18日(金)～22日(火)	○	○	履修変更期間	14頁																																											
							14日(月)	○		【教職】「教職履修届」提出締切	21頁																																											
							15日(火)	○		特別聴講制度(単位互換) 手続締切	16頁																																											
							29日(火)	○	○	昭和の日(授業実施日)																																												
30日(水)		○	【法・経・商・文・総】研究状況報告書 提出締切		25・30・31・21・19頁																																																	
30日(水)	○	○	臨時休業日																																																			
5月 May <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr><tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1日(木)、2日(金)	○	○	臨時休業日		
							日	月	火	水	木	金	土																																									
											1	2	3																																									
							4	5	6	7	8	9	10																																									
							11	12	13	14	15	16	17																																									
							18	19	20	21	22	23	24																																									
							25	26	27	28	29	30	31																																									
6日(火)	○	○	振替休日																																																			
7日(水)	○	○	履修届チェックリスト配布開始	14頁																																																		
7日(水)	○		【総】修士論文計画書・題名届 提出締切		14頁																																																	
9日(金)	○	○	【文】研究年報・査読付論文 執筆登録締切	43頁																																																		
31日(土)		○	【法・経・商・文・総】研究計画書 提出締切		25・30・31・21・19頁																																																	
31日(土)	○		【商】修士論文題名届 提出締切		19頁																																																	
6月 June <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr><tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						2日(月)	○		修了見込証明書 発行開始	32頁	
							日	月	火	水	木	金	土																																									
1	2	3	4	5	6	7																																																
8	9	10	11	12	13	14																																																
15	16	17	18	19	20	21																																																
22	23	24	25	26	27	28																																																
29	30																																																					
6日(金)	○	○	【法・経・商・文・総】研究年報・査読付論文 応募締切	43頁																																																		
7月 July <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr><tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			8日(火)	○	○	創立記念日(授業実施日)		
							日	月	火	水	木	金	土																																									
									1	2	3	4	5																																									
							6	7	8	9	10	11	12																																									
							13	14	15	16	17	18	19																																									
							20	21	22	23	24	25	26																																									
							27	28	29	30	31																																											
中旬～	○		【法】修士論文中間発表会		17頁																																																	
中旬～	○		【商】修士論文中間報告会		19頁																																																	
21日(月)	○	○	海の日(授業実施日)																																																			
23日(水)～31日(木)	○	○	補講期間																																																			
下旬		○	博士学位授与式																																																			
※法学研究科の修士論文中間発表会は7月中旬～下旬に行います。詳細は法学研究科編17頁をご覧ください。																																																						
※商学研究科の修士論文中間報告会は7月～9月に行います。詳細は商学研究科編19頁をご覧ください。																																																						

カレンダー							日程	課程		行事予定	詳細																																																		
全日休講日 祝日の授業実施日								M	D		5研究科 共通編	各研究科編																																																	
8月 August <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr><tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							1日(金)	○	○	夏季休業開始(～9月20日(土))		
							日	月	火	水	木	金	土																																																
					1	2																																																							
3	4	5	6	7	8	9																																																							
10	11	12	13	14	15	16																																																							
17	18	19	20	21	22	23																																																							
24	25	26	27	28	29	30																																																							
31																																																													
9月 September <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr><tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					中旬	○	○	前期開講科目 成績発表	15頁								
							日	月	火	水	木	金	土																																																
								1	2	3	4	5	6																																																
							7	8	9	10	11	12	13																																																
							14	15	16	17	18	19	20																																																
							21	22	23	24	25	26	27																																																
							28	29	30																																																				
							22日(月)	○	○	後期授業開始																																																			
							22日(月)	○	○	履修届チェックリスト配布開始	14頁																																																		
							23日(火)	○	○	秋分の日(授業実施日)																																																			
25日(木)	○	○	【経】基本科目変更届 提出締切	13頁																																																									
25日(木)～26日(金)	○	○	履修変更期間	14頁																																																									
25日(木)	○	○	【法・商・総】研究年報・一般論文または研究ノート 応募締切	43頁																																																									
27日(土)	○		【経】修士論文中間報告会		14頁																																																								
27日(土)		○	【経】博士論文公開研究会		30頁																																																								
27日(土)	○		【総】修士論文中間発表会		15頁																																																								
10月 October <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr><tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		10日(金)	○		【法・経・文】修士論文題名届 締切		17・15・20頁							
							日	月	火	水	木	金	土																																																
										1	2	3	4																																																
							5	6	7	8	9	10	11																																																
							12	13	14	15	16	17	18																																																
							19	20	21	22	23	24	25																																																
							26	27	28	29	30	31																																																	
13日(月)	○	○	スポーツの日(授業実施日)																																																										
下旬～11月上旬	○		【教職】一括申請ガイダンス	22頁																																																									
29日(水)	○		臨時休業日																																																										
30日(木)	○		全日休講																																																										
31日(金)	○		白門祭期間(全日休講)																																																										
11月 November <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr><tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr><tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							1日(土)～3日(月)	○	○	白門祭期間(全日休講)		
							日	月	火	水	木	金	土																																																
													1																																																
							2	3	4	5	6	7	8																																																
9	10	11	12	13	14	15																																																							
16	17	18	19	20	21	22																																																							
23	24	25	26	27	28	29																																																							
30																																																													
4日(火)	○	○	臨時休業日																																																										
24日(月)	○	○	振替休日(授業実施日)																																																										

カレンダー							日程		課程		行事予定		詳細																																									
全日休講日 祝日の授業実施日													5研究科 共通編	各研究科編																																								
12月 December <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr><tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				24日(水)	○	○	冬季休業開始(～1月6日(火))		
							日	月	火	水	木	金	土																																									
								1	2	3	4	5	6																																									
							7	8	9	10	11	12	13																																									
							14	15	16	17	18	19	20																																									
							21	22	23	24	25	26	27																																									
							28	29	30	31																																												
1月 January <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr><tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	7日(水)	○	○	授業開始		
							日	月	火	水	木	金	土																																									
											1	2	3																																									
							4	5	6	7	8	9	10																																									
							11	12	13	14	15	16	17																																									
							18	19	20	21	22	23	24																																									
							25	26	27	28	29	30	31																																									
							9日(金)	○		修士論文 提出締切日(17:00)																																												
							13日(火)	○	○	臨時休業日																																												
							14日(水)～15日(木)	○	○	後期補講期間																																												
16日(金)～17日(土)	○	○	全日休講																																																			
26日(月)～31日(土)	○	○	後期補講期間																																																			
30日(金)	○	○	休学願提出締切	25頁																																																		
下旬～2月中旬	○		【文】修士論文最終試験(～2月中旬)		20頁																																																	
※文学研究科の修士論文最終試験の日程は、別途お知らせします。																																																						
2月 February <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr><tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日(日)	○	○	春季休業開始(～3月31日(火))									
							日	月	火	水	木	金	土																																									
							1	2	3	4	5	6	7																																									
							8	9	10	11	12	13	14																																									
							15	16	17	18	19	20	21																																									
							22	23	24	25	26	27	28																																									
5日(木)	○		【商】修士論文最終試験		20頁																																																	
13日(金)	○		【総】修士論文最終試験		15頁																																																	
17日(火)	○		【法】修士論文最終試験		17頁																																																	
18日(水)	○		【経】修士論文最終試験		15頁																																																	
3月 March <table><tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr><tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							日	月	火	水	木	金	土	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					上旬	○		2025年度 修了者発表・成績発表(修了者のみ)	15頁	
							日	月	火	水	木	金	土																																									
							1	2	3	4	5	6	7																																									
							8	9	10	11	12	13	14																																									
							15	16	17	18	19	20	21																																									
							22	23	24	25	26	27	28																																									
29	30	31																																																				
上旬	○	○	2025年度 後期開講・通年科目 成績発表(修了者以外)	15頁																																																		
上旬～4月末		○	特別研究員 ID・パスワード発行期間	41頁																																																		
中旬～下旬		○	博士学位授与式																																																			
中旬～下旬	○		修士学位授与式																																																			
※修了者発表・成績発表の日程は、別途お知らせします。 ※博士学位授与式・修士学位授与式の日程は、別途お知らせします。																																																						

INDEX

◎2025年度文系大学院学年暦・行事日程表	2
◎中央大学大学院の概観〔中央大学の建学の精神／中央大学大学院の使命と目的〕	6
◎総合政策研究科の学位授与方針および教育課程の編成・実施方針	7

学 業 に 関 す る 事 項

◎総合政策研究科 修了までの流れについて	12
1. 総合政策研究科に関する事項	14
■博士前期課程〔履修方法／修士論文／カリキュラムマップ／研究科設置科目一覧〕	14
■博士後期課程〔研究および履修方法／課程博士学位候補資格／博士学位請求論文／カリキュラムマップ／研究科設置科目一覧〕	19
2. 総合政策研究科の学位審査に関する取扱要領	23
■総合政策研究科修士学位審査に関する取扱要領	23
■総合政策研究科博士学位審査に関する取扱要領	24
3. 総合政策研究科の学位授与方針に基づく知識・能力の到達度評価表	26
■総合政策研究科博士前期課程	26
■総合政策研究科博士後期課程	27

総 合 政 策 研 究 科 に 関 す る 基 準

◎中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻課程博士学位候補資格認定に関する基準（付録）	29
◎多摩キャンパスマップ	31
◎緊急時の避難について	32

中央大学大学院の概観

1. 中央大学の建学の精神 — 實地應用ノ素ヲ養フ —

中央大学は、1885（明治18）年、18人の若き法律家たちによって「英吉利法律学校」として創設されました。

創立者たちがこの学校を設立した目的は、イギリス法（英米法）の長所である法の実地応用に優れた人材を育成するために、イギリス法の全科を教授し、その書籍を著述し、その書庫を設立することにあります。

創立者たちの「建学の精神」は、抽象的体系性よりも具体的実証性を重視し、実地応用に優れたイギリス法についての理解と法知識の普及こそが、わが国の独立と近代化に不可欠であるというものでした。それゆえ「實地應用ノ素ヲ養フ」教育によって、イギリス法を身につけ、品性の陶冶された法律家を育成し、わが国の法制度の改良をめざしたのです。

創立者たちは、イギリス法が明治の日本を近代的な法治国家にするために最も適していると確信し、経験を重んじ自由を尊ぶイギリス法の教育を通して、実社会が求める人材を養成しようとしたのでした。

創立から140年の歴史の中で、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神は、8学部、大学院8研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校を擁する総合学園となった現在、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して

「行動する知性。—Knowledge into Action—」

を育むという本学のユニバーシティ・メッセージに受け継がれています。

2. 中央大学大学院の使命と目的

中央大学は、学則第2条にて「本大学は、その伝統及び私立大学の特性を生かしつつ、教育基本法の精神に則り、学術の中心として、広く知識を授け、深く専門の理論及び応用を教授・研究し、もって個性豊かな人間の育成を期するとともに、文化の創造・発展と、社会・人類の福祉に貢献することを使命とする」と定めています。

また、中央大学の使命を踏まえ、その上位課程である大学院では、大学院学則第2条にて「課程の目的に応じ、学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、本大学の使命を達成することを目的とする」と定め、とりわけ高等教育機関等の研究教育者の育成を基本理念に運営されています。

各研究科・課程における教育研究上の目的は、中央大学大学院学則第4の5に定められており、また、3つの方針（学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れ）についても、研究科毎の指針が明文化されています。これらの方針に基づき、各研究科において教育研究活動をおこなっています。

●総合政策研究科の教育研究上の目的等（中央大学大学院学則第4の5第6号）

「人文科学、社会科学、自然科学、工学及びその関連諸分野を総合する観点から、現代社会における政策に関する理論及び諸現象にかかる高度な教育研究を行い、高い研究能力と広く豊かな学識を有し、政策と文化を融合する学問分野を開拓しつつ教育研究活動その他の高度の専門性を必要とする業務を遂行することのできる人材を養成する。」

総合政策研究科の学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） ＜2023 年度以降入学生＞

○養成する人材像

総合政策研究科は、現代社会における政策に関する理論及び諸現象にかかわる、高度な教育研究を行い、多彩な文化的背景に基づいた「政策研究」専門分野として活躍できる「政策分析能力に優れ、異文化を理解できる人材」を養成します。

○修了するにあたって備えるべき知識・能力

本研究科では課程の修了にあたって、以下のような高度かつ専門的な資質・能力を身につけた学生に対して各課程における学位を授与します。

＜博士前期課程＞

学位:修士(総合政策)

1. 政策分析能力:

政策研究に必要な基礎知識を備えた上で、専門領域に関する分析を複眼的視野から行うことができる。

2. 異文化理解能力:

地域毎に大きく異なる民族、文化、言語・宗教などの違いを理解し、民族および個人の多様な価値観を尊重した上で、文化の諸領域にかかわる研究を遂行できる。

3. 実践的提案力:

社会が抱える諸問題の解決方法を複眼的な思考から導き出し、あらゆる文化・社会に適応する、実践的な提案ができる。

＜博士後期課程＞

学位:博士(総合政策)

1. 政策提案力:

学際複合的な視点から各分野における政策への対応が実現できるような専門知識と実践能力を備え、実務において問題解決志向的なアプローチに基づいた政策提案ができる。

2. 学問開拓力:

専門分野に関する知識と複眼的かつ深い思考で、政策と文化を統合する「総合政策」という学問分野を新たに開拓できる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） ＜2023 年度以降入学生＞

○カリキュラムの基本構成

総合政策研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・能力を修得できるよう、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

＜博士前期課程:修士(総合政策)＞

「研究基礎科目」: 専攻分野にかかわらず研究活動の基盤となる知識・技能を修得するとともに、本研究科における政策・文化研究に必要な、既存の専門領域において中核となる基礎理論を学び、政策分析能力・異文化理解能力の基礎を養成します。

「研究発展科目」: 学士課程で獲得した知識に加え、「研究基礎科目」で修得した基礎的な知識と研究手法をもとに、自身の研究テーマに関連した高度な専門的な学修を行うための科目群です。より具体的な総合政策研究を行うことができるような知識・技能を身に付け、政策分析能力・異文化理解能力を飛躍的に伸ばします。

「研究応用科目」：それぞれの研究テーマについて、より高度な専門性に裏打ちされた実践的な政策分析能力を身に付け、複眼的かつ深化した研究を行うことができる「総合実践力」を指導教授および複数教員による演習によって養成します。

＜博士後期課程：博士（総合政策）＞

「特殊研究」：「法政策研究」「公共政策研究」「経営政策研究」「歴史文化研究」の4つの研究指導分野の中から選択して履修し、指導教授とともに個別のテーマの研究を深化・体系化し、政策と文化を統合する学問分野の創造にかかわっていきます。

「上級学術研究」：広大な研究テーマを深化するにあたり必要な知識・技能の修得や、複眼的な研究遂行能力をより高めるための共同研究を行い、政策提案力や学問開拓力の強化を図ります。

○カリキュラムの体系的性

総合政策研究科では、授業科目を体系的に配置し段階を踏んだ学修環境を整えることで、効果的な学修成果の向上を目指しています。

＜博士前期課程：修士（総合政策）＞

1 年次：研究基礎科目を通じて研究活動に必要なリテラシーを身に付けるとともに、既存の専門領域において中核となる基礎理論を学び、政策的・文化的思考の基礎を修得します。さらに、研究発展科目の履修や研究応用科目である「演習（総合政策セミナー）Ⅰ」における指導教授や他の学生とのディスカッションを通じて、自身の研究テーマに関連した分野の知識を深化させるとともに、政策分析能力・異文化理解能力をより確固たるものとし

ます。

2 年次：1 年次に修得できなかった知識・技能を研究発展科目の履修を通じて補完するとともに、研究応用科目である「演習（総合政策セミナー）Ⅰ」で自身の研究テーマをさらに深化させます。加えて「演習（総合政策セミナー）Ⅱ」にて複数教員からの複眼的視点による指導を受け、より視点を高くした学際的な研究へと発展させます。これらの履修を通じて、総合実践性を備えた、高水準の修士論文完成を目指します。

＜博士後期課程：博士（総合政策）＞

1・2 年次：「特殊研究Ⅰ・Ⅱ」にて自身の専攻テーマに関する研究をより深化させ、総合的な政策対応が実現できるような高度な専門知識と実践能力を養成します。また、「上級学術研究」により、複合的研究活動に必要な知識の補完、学際的視座の拡張を実質的なものにします。

2 年次以降：カリキュラムにおける学修と並行し、博士学位請求論文の完成、そして修了後に自立した研究者となることを目標として自身の研究活動を進めます。研究の遂行にあたり、学内外に積極的に論文を公開することを研究科として求めています。様々な視点から多角的なアドバイスを受ける機会を創出することで、より実践的かつ複合的な知識やアプローチ方法を獲得します。研究活動で得られた成果は「博士学位候補資格認定試験」により確認を行い、その際にも複数教員からのアドバイスを受けることができるため、自身の研究をより深く、高度なものに高めることができます。

これらのコースワークおよびリサーチワーク、博士学位請求論文の作成を通じて、高度な専門知識と実践能力を養成すると共に、新たな学問を開拓できる力を身に付けます。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） ＜2022 年度以前入学生＞

○養成する人材像

総合政策研究科は、現代社会における政策に関する理論及び諸現象にかかわる、高度な教育研究を行い、多彩な文化的背景に基づいた「政策研究」専門分野として活躍できる「政策分析能力に優れ、異文化を理解できる人材」を養成します。

○修了するにあたって備えるべき知識・能力

本研究科では課程の修了にあたって、以下のような高度かつ専門的な資質・能力を身につけた学生に対して各課程における学位を授与します。

＜博士前期課程＞

学位:修士(総合政策)

1. 政策分析能力:

政策研究に必要な基礎知識を備えた上で、専門領域に関する分析を複眼的視野から行うことができる。

2. 異文化理解能力:

地域毎に大きく異なる民族、文化、言語・宗教などの違いを理解し、民族および個人の多様な価値観を尊重した上で、文化の諸領域にかかわる研究を遂行できる。

3. 実践的提案力:

社会が抱える諸問題の解決方法を複眼的な思考から導き出し、あらゆる文化・社会に適応する、実践的な提案ができる。

＜博士後期課程＞

学位:博士(総合政策)

1. 政策提案力:

学際複合的な視点から各分野における政策への対応が実現できるような専門知識と実践能力を備え、実務において問題解決志向的なアプローチに基づいた政策提案ができる。

2. 学問開拓力:

専門分野に関する知識と複眼的かつ深い思考で、政策と文化を統合する「総合政策」という学問分野を新たに開拓できる。

学位:博士(学術)

1. 課題解決提案力:

学際複合的な視点から各分野の研究における現代的課題への対応が実現できるような専門知識と実践能力を備え、課題の解決策を提案または実施することができる。

2. 学問開拓力:

文化に関する専門分野に関する知識と複眼的かつ深い思考で、政策と文化を統合する「総合政策」という学問分野を新たに開拓できる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） ＜2022 年度以前入学生＞

○カリキュラムの基本構成

総合政策研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・能力を修得できるよう、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

＜博士前期課程:修士(総合政策)＞

「研究基礎科目」: 専攻分野にかかわらず研究活動の基盤となる知識・技能を修得するとともに、本研究科における政策・文化研究に必要な、既存の専門領域において中核となる基礎理論を学び、政策分析能力・異文化理解能力の基礎を養成します。

「研究発展科目」: 学士課程で獲得した知識に加え、「研究基礎科目」で修得した基礎的な知識と研究手法をもとに、自身の研究テーマに関連した高度な専門的な学修を行うための科目群です。より具体的な総合政策研究を行うことができるような知識・技能を身に付け、政策分析能力・異文化理解能力を飛躍的に伸ばします。

「研究応用科目」: それぞれの研究テーマについて、より高度な専門性に裏打ちされた実践的な政策分析能力を身につけ、複眼的かつ深化した研究を行うことができる「総合的実践力」を指導教授および複数教員による演習によって養成します。

＜博士後期課程:博士(総合政策)＞

「特殊研究」:「法政策研究」「公共政策研究」「経営政策研究」「歴史文化研究」の4つの研究指導分野の中から選択して履修し、指導教授とともに政策研究に係る個別のテーマの研究を深化・体系化し、政策と文化を統合する学問分野の創造にかかわっていきます。

「上級学術研究」:広大な研究テーマを深化するにあたり必要な知識・技能の修得や、複眼的な研究遂行能力をより高めるための共同研究を行い、政策提案力や学問開拓力の強化を図ります。

＜博士後期課程:博士(学術)＞

「特殊研究」:「法政策研究」「公共政策研究」「経営政策研究」「歴史文化研究」の4つの研究指導分野の中から選択して履修し、指導教授とともに歴史・文化人類学・地域研究の分野に係る個別のテーマの研究を深化・体系化し、政策と文化を統合する学問分野の創造にかかわっていきます。

「上級学術研究」:広大な研究テーマを深化するにあたり必要な知識・技能の修得や、複眼的な研究遂行能力をより高めるための共同研究を行い、課題解決提案力や学問開拓力の強化を図ります。

○カリキュラムの体系的性

総合政策研究科では、授業科目を体系的に配置し段階を踏んだ学修環境を整えることで、効果的な学修成果の向上を目指しています。

＜博士前期課程:修士(総合政策)＞

1 年次:研究基礎科目を通じて研究活動に必要なリテラシーを身に付けるとともに、既存の専門領域において中核となる基礎理論を学び、政策的・文化的思考の基礎を修得します。さらに、研究発展科目の履修や研究応用科目である「演習(総合政策セミナー)Ⅰ」における指導教授や他の学生とのディスカッションを通じて、自身の研究テーマに関連した分野の知識を深化させるとともに、政策分析能力・異文化理解能力をより確固たるものとしします。

2 年次:1 年次に修得できなかった知識・技能を研究発展科目の履修を通じて補完するとともに、研究応用科目である「演習(総合政策セミナー)Ⅰ」で自身の研究テーマをさらに深化させます。加えて「演習(総合政策セミナー)Ⅱ」にて複数教員からの複眼的視点による指導を受け、より視点を高くした学際的な研究へと発展させます。これらの履修を通じて、総合的実践性を備えた、高水準の修士論文完成を目指します。

＜博士後期課程:博士(総合政策)＞

1・2 年次:「特殊研究Ⅰ・Ⅱ」にて自身の専攻テーマに関する研究をより深化させ、政策研究の高度な専門知識と実践能力を養成します。また、「上級学術研究」により、複合的研究活動に必要な知識の補完、学際的視座の拡張を実質的なものにします。

2 年次以降:カリキュラムにおける学修と並行し、博士学位請求論文の完成、そして修了後に自立した研究者となることを目標として自身の研究活動を進めます。研究の遂行にあたり、学内外に積極的に論文を公開することを研究科として求めています。様々な視点から多角的なアドバイスを受ける機会を創出することで、より実践的かつ複合的な知識やアプローチ方法を獲得します。研究活動で得られた成果は「博士学位候補資格認定試験」により確認を行い、その際にも複数教員からのアドバイスを受けることができるため、自身の研究をより深く、高度なものに高めることができます。これらのコースワークおよびリサーチワーク、博士学位請求論文の作成を通じて、政策研究の高度な専門知識と実践能力を養成すると共に、専門分野の文化的背景に基づいた政策立案ができる力を身に付けます。

＜博士後期課程:博士(学術)＞

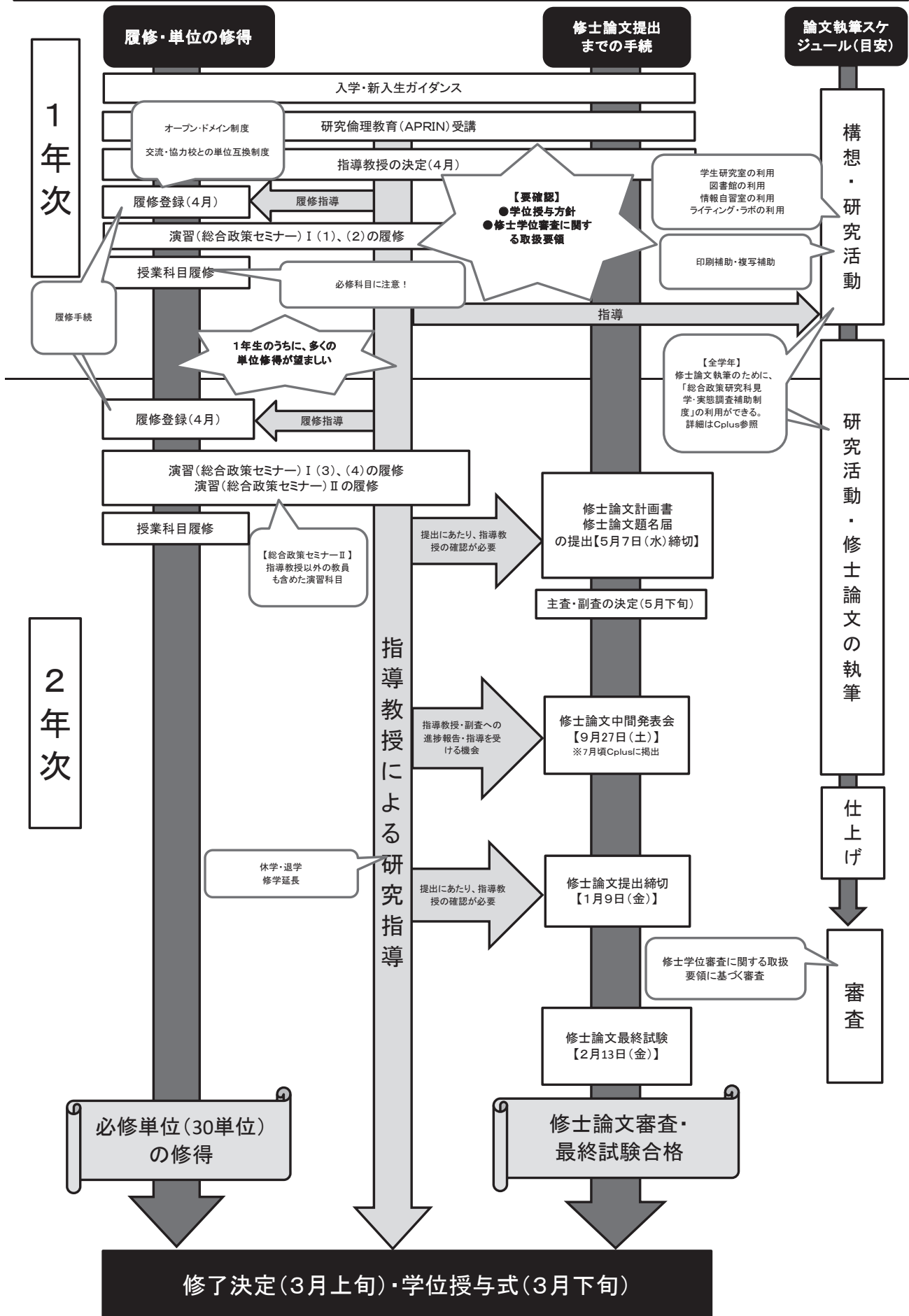
1・2 年次:「特殊研究Ⅰ・Ⅱ」にて自身の専攻テーマに関する研究をより深化させ、政策研究の基盤となる歴史・文化人類学・地域研究の分野における高度な専門知識と実践能力を養成します。また、「上級学術研究」により、複合的研究活動に必要な知識の補完、学際的視座の拡張を実質的なものにします。

2 年次以降:カリキュラムにおける学修と並行し、博士学位請求論文の完成、そして修了後に自立した研究者

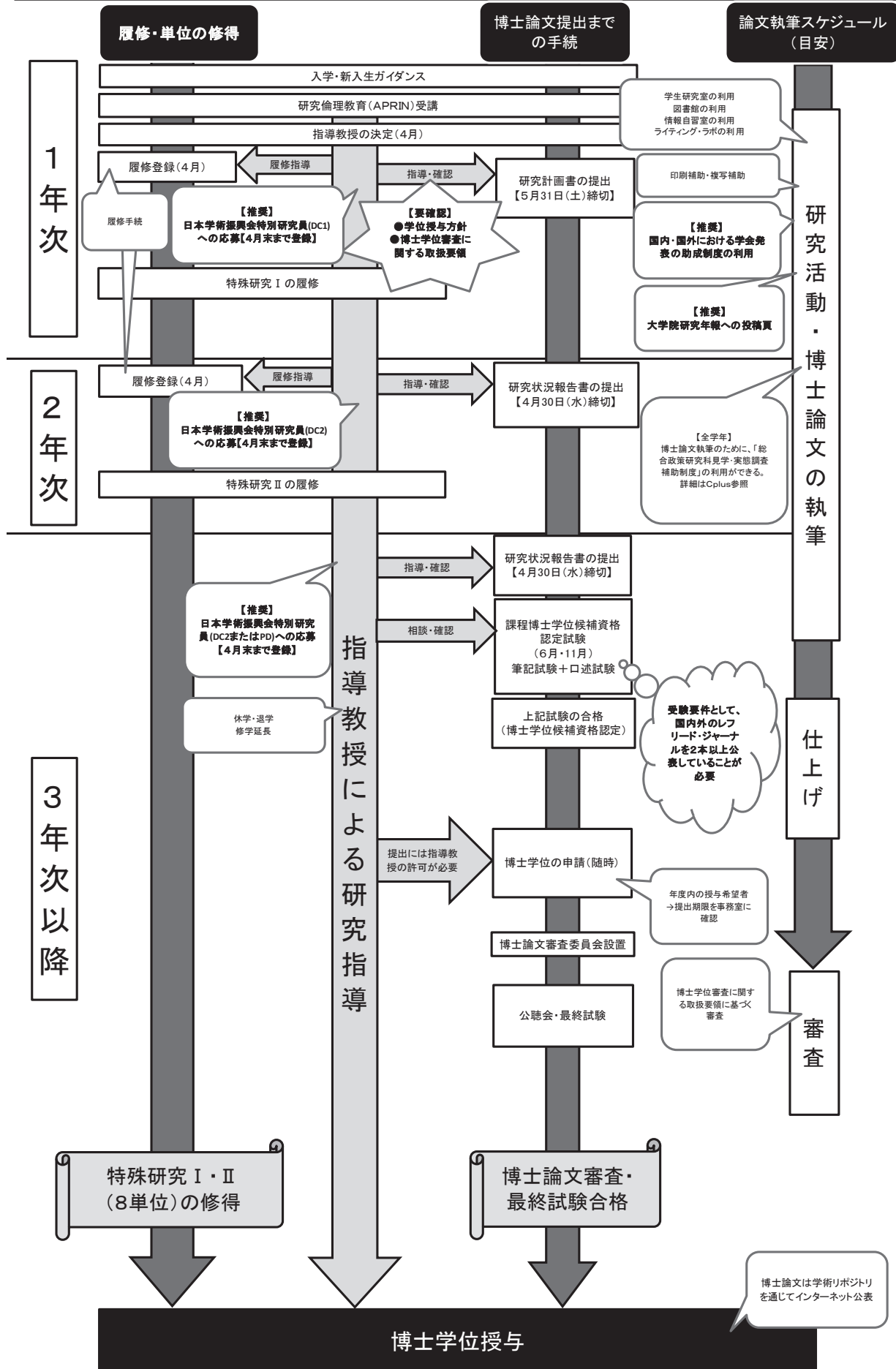
となることを目標として自身の研究活動を進めます。研究の遂行にあたり、学内外に積極的に論文を公開することを研究科として求めています。様々な視点から多角的なアドバイスを受ける機会を創出することで、より実践的かつ複合的な知識やアプローチ方法を獲得します。研究活動で得られた成果は「博士学位候補資格認定試験」により確認を行い、その際にも複数教員からのアドバイスを受けることができるため、自身の研究をより深く、高度なものに高めることができます。これらのコースワークおよびリサーチワーク、博士学位請求論文の作成を通じて、政策研究の基盤となる歴史・文化人類学・地域研究の分野における高度な専門知識と実践能力を養成すると共に、学術的な視点から現代的課題への解決策を提案または実施することのできる力を身に付けます。

学業に関する事項

総合政策研究科博士前期課程 修了までの流れについて



総合政策研究科博士後期課程 修了までの流れについて



1. 総合政策研究科に関する事項

■博士前期課程

<1>履修方法

(1) 修了必修単位数について

修了するためには、授業科目の中から合計 30 単位を修得しなければなりません。

(2) 必修科目・選択必修科目について

1) 必修科目について

研究基礎科目の「リサーチ・リテラシー」、「統計・計量分析」、「社会調査法」、「総合政策フォーラム」計 4 科目 8 単位と、研究応用科目の「演習（総合政策セミナー）Ⅰ・Ⅱ」（計 12 単位）を履修しなければなりません。

2) 選択必修科目について

研究基礎科目のうち、1) の 4 科目を除く 5 科目から 2 科目 4 単位以上選択履修しなければなりません。

(3) 必修科目・選択必修科目以外の履修、他研究科および交流・協定校が聴講を認めた授業科目について

修了に必要な単位数 30 単位のうち、(1) および (2) の合計 24 単位を除く 6 単位を研究基礎科目、研究発展科目及び他研究科授業科目又は交流・協定校が聴講を認めた授業科目の中から選択履修しなければなりません。

1) 2021 年度以降入学生

交流・協定校が聴講を認めた授業科目については、合計 8 単位を上限に履修できます。他研究科授業科目については履修単位の上限はありません。

2) 2020 年度入学生

他研究科授業科目又は交流・協定校が聴講を認めた授業科目については、合計 15 単位を上限に履修できます。

(4) 同一名称科目の履修について

授業科目の履修に際しては、同一名称科目の単位を重複して修得することはできません。ただし、「特殊講義Ⅰ・Ⅱ」は、授業内容が異なる場合、それぞれ 2 回を限度として、単位修得目的で履修することができます。

(5) 演習（総合政策セミナー）Ⅰ・Ⅱについて

「演習（総合政策セミナー）Ⅰ(1)～(4)」は、指導教授による修士論文執筆のための指導を中心とするゼミナール形式の授業科目です。また、「演習（総合政策セミナー）Ⅱ」は、複数教員による修士論文執筆のための指導を中心とする授業科目であり、原則として 2 年次において履修する科目です。

(6) 学術研究Ⅰ～Ⅳについて

「学術研究Ⅰ」、「学術研究Ⅱ」は、指導教授の指導のもとで行う調査活動、フィールド調査等の成果に対して単位が付与される科目であり、「学術研究Ⅲ」、「学術研究Ⅳ」は、指導教授以外の専任教員による特別な指導を受ける際に履修する授業科目です。履修に際しては、指導教授の指示を受けてください。

<2>修士論文

(1) 提出までの過程について

修士論文の作成・提出にあたり、以下の過程を必ず経てください。

1) 修士論文計画書・題名届等の提出

Web サイト「文系大学院掲示板」（学位）よりダウンロードした所定の届出用紙を期日までに manaba に提出してください。

対 象 者：2025 年度修了予定者（1 年修了予定者含む）

提出締切：5 月 7 日（水）

※提出方法については、Web サイト「文系大学院掲示板」（学位）及び manaba に掲出します。

2) 修士論文中間発表会

修士論文中間発表会では、修士論文のテーマ、論文の構成、内容などについて、主査（指導教授）、副査等に対して発表し、その後質疑応答が行われます。こうした機会は、自身の研究を他者に発表する機会になると同時に、修士論文作成に多くの示唆を与え、より質の高い論文を仕上げることに寄与します。なお、修了予定者でなくとも、発表会に出席することをお勧めします。他者の発表に触れることを通じて、他者の研究・発表方法を知る機会ともなり、自らの研究力の向上にも繋がります。詳細については、9月上旬にCplus等でお知らせいたします。

対象者：博士前期課程 2025年度修了予定者（1年修了予定者含む）

開催日：9月27日（土）※当日は総合政策研究科の授業は原則休講となります。

(2) 提出期限について

提出期限：1月9日（金）17時 厳守

提出物：論文（A4版）論文要旨（1200字～1600字）

※その他提出物、提出方法については、10月下旬頃にWebサイト「文系大学院掲示板」（学位）及びmanabaでお知らせします。

(3) 審査について

主査・副査による論文審査が行われた後、修士論文に関する口述試験を行います。最終試験に欠席した場合、修了することはできません。

修士論文最終試験（予定）：2月13日（金）

※審査基準については、23頁をご確認ください。

<3>カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各授業科目が、「修了するにあたって備えるべき知識・能力」のどの項目と関連するのか、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

詳細は本学公式Webサイトにてご確認ください。

<4> 研究科設置科目一覧

※オープン・ドメイン制度については、研究科共通編23頁を参照のうえ、履修してください。
 ※英語による科目は、表中の「英語」に○がついています。留学生、留学を希望する学生、専門分野を英語で学んでみようと思う学生は、是非履修してください。履修方法・履修条件は、一般的な科目と同じです。

研究基礎科目

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
リサーチ・リテラシー	Research Literacy	2		教授 他	小林 勉 他
統計・計量分析	Statistics and Quantitative Analysis	2		准教授	中村 周史
社会調査法	Social Research Method	2		教授	篠木 幹子
公共政策	Public Policy	2		教授	川崎 一泰
経済学	Economics	4		教授 他	実積 寿也／中村 彰宏
経営学	Business Administration	2		教授 他	青木 英孝／林 正／ 佐々木 隆文
地域・文化研究	Regional and Cultural Studies	2		教授	岩田 重則
社会思想	Social Thought	2		准教授	横山 陸
総合政策フォーラム	Forum on Policy Studies	2		教授 他	小林 勉(委員長) (カリキュラム委員会担当)

研究発展科目（法政と経済）

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
正義と法	A Concept of Law and Justice	2		教授	堤 和通
政治行動論	Political Behavior	2		教授	荒井 紀一郎
数理政治学	Formal Political Theory	2		准教授	籠谷 公司
行政管理論	Administrative Management	2		特任教授	川口 康裕
司法過程論	Judicial Process	2		教授(法)	柳川 重規
政策法学	Law and Policy	2		教授	宮下 紘
公共経済と公共選択	Public Economy and Public Choice	2		教授	福重 元嗣
応用ミクロ経済学	Applied Microeconomics	2		教授	実積 寿也
金融の理論とその応用	Applied Financial Economics	2			休講
市場と規制の政策分析	Policy Analysis of Market Conducts and Regulation	2		教授	川崎 一泰
法人類学	Legal Anthropology	2		准教授	高野 さやか
地方財政論	Local Finance	2		教授	福重 元嗣

研究発展科目（ビジネス政策）

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
経営組織論	Organization Theory	2		教授	青木 英孝
経営戦略論	Strategic Management	2			休講
多国籍企業と人事管理	Advanced Theory of Human Resource Management of Multinational Corporation	2		兼任講師	菅谷 英之
国際経営論	Advanced Study of International Business and Management	2		准教授	林 正
ビジネス・ファイナンス	Corporate Finance	2		教授	佐々木 隆文
ベンチャービジネス経営論	Venture Business Management	2		兼任講師	亀井 省吾
国際マーケティング戦略	International Marketing Strategy	2		教授(商)	三浦 俊彦
環境監査論	Environmental Auditing	2		教授(経済)	丸山 佳久
ビジネス・エコノミクス研究	Business Economics	2		教授(商)	本庄 裕司
企業経済論	Business Economics II	2			休講
イスラーム経済・経営論	Islamic Economy and Management	2		教授	櫻井 秀子
ヨーロッパ統合とEU法	European Integration and EU Law	2		教授	庄司 克宏

研究発展科目（現代世界）

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
現代外交史	Modern History of Diplomacy	2	○	教授	服部 龍二
安全保障論	National Security Policy	2		准教授	籠谷 公司
民族紛争と共生	Ethnic Conflict and Coexistence	2		教授	清水 芳見
西アジアとグローバル化	West Asia and Globalization	2		教授	櫻井 秀子
環境と都市	Urban Environment	2		教授	平野 廣和
NPO・NGO論 I	Non Profit Organizations I	2		教授	目加田 説子
開発におけるスポーツ	Sport-in-development: Development for and through sport?	2		教授	小林 勉
英語圏:ナラティブ、世界観、言語	Anglophone Culture; Narratives, Worldviews, Languages	2			休講

研究発展科目（文明と国家）

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
イスラーム文明と現代世界	Islamic Civilization in Modern World	2		教授(文)	新免 康
イスラーム哲学(イスラーム思想)	Islamic Philosophy (Islamic Thought)	2		兼任講師	高橋 英海
アメリカの社会・文化・思想	American Society, Culture and Thought	2		准教授	山城 雅江
比較文化論	Comparative Cultural Studies	2		教授	彭 浩
演劇と人間	Theater and Human Being	2		教授	黒田 絵美子
ジェンダー・セクシュアリティ論	Gender and Sexuality Studies	2		教授	永松 京子
西洋哲学	Western Philosophy	2		准教授	横山 陸
文化研究方法論	Research Methodology for Culture	2		教授	李 里花
情報コミュニケーション論	Information Communication	2		特任准教授	田代 光輝

研究発展科目（アジアの歴史と文化）

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
東南アジアの社会と文化	Society and Culture in South-East Asia	2			休講
日本・アジア関係史	Japan Asia Relations	2			休講
ロシア・ユーラシアの社会と文化	Society and Culture in Russia and Eurasia	2		教授	伊賀上 菜穂
アジア開発経済論	Development Economics of Asia	2		教授(経済)	林 光洋
南アジアの社会と文化	Society and Culture in South Asia	2		准教授	井田 克征
華人の社会と文化	Overseas Chinese Community and Culture	2			休講
日本歴史民俗論	Japanese Historical Folklore	2			休講
物質文化論	Material Culture Studies	2		准教授	篠原 典生

研究発展科目（各分野共通）

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
学術研究Ⅰ	Academic ResearchⅠ	2			各指導教授
学術研究Ⅱ	Academic ResearchⅡ	2			各指導教授
学術研究Ⅲ	Academic ResearchⅢ	2			専任教授全員
学術研究Ⅳ	Academic ResearchⅣ	2			専任教授全員
特殊講義Ⅰ(環境リスク・ガバナンス論)	Risk Governance on Environmental Issues	2		教授	青柳 みどり
特殊講義Ⅰ(アカデミック・ライティングの方法と実践)	Special Lecture1(Academic Writing)	2		教授(文)	尹 智鉉
特殊講義Ⅰ(留学生のためのアカデミック・ライティングⅠ 基礎編)	Special Lecture1(Academic Writing for International Students - Basics)	2		教授(文)	尹 智鉉
特殊講義Ⅰ(留学生のためのアカデミック・ライティングⅠ 基礎編)	Special Lecture1(Academic Writing for International Students - Basics)	2		兼任講師	中野 玲子
特殊講義Ⅱ(留学生のためのアカデミック・ライティングⅡ 実践編)	Special Lecture2(Academic Writing for International Students - Practice)	2		教授(文)	尹 智鉉
特殊講義Ⅱ(留学生のためのアカデミック・ライティングⅡ 実践編)	Special Lecture2(Academic Writing for International Students - Practice)	2		兼任講師	中野 玲子
英語プレゼンテーションの技法	Academic Presentations in English	2	○		休講

研究応用科目

授業科目名	英字授業科目名	単位	英語開講	担当者	
演習(総合政策セミナー)Ⅰ(1)	SeminarⅠ(1)	2		専任教員	各指導教授
演習(総合政策セミナー)Ⅰ(2)	SeminarⅠ(2)	2		専任教員	各指導教授
演習(総合政策セミナー)Ⅰ(3)	SeminarⅠ(3)	2		専任教員	各指導教授
演習(総合政策セミナー)Ⅰ(4)	SeminarⅠ(4)	2		専任教員	各指導教授
演習(総合政策セミナー)Ⅱ	SeminarⅡ	4		専任教員	各指導教授

■博士後期課程

<1>研究および履修方法

(1) 研究計画書および研究状況報告書について

1 年次生は 5 月 31 日(土)までに研究計画書を、2 年次生以降は 4 月 30 日(水)までに研究状況報告書を、指導教授を経由して研究科委員会に提出しなければなりません。提出方法については Cplus にてお知らせします。

(2) 修了必修単位数について

修了にあたり、特殊研究Ⅰ（1 年次）、特殊研究Ⅱ（2 年次）、合計 8 単位の修得が必要です。

(3) 上級学術研究Ⅰ～Ⅳについて

総合政策研究科において「研究基礎力」、「総合政策能力」を早期に身に付け、よりよい研究活動を行うため、指導教授の指導の下で博士前期課程設置科目（他研究科設置科目含む）の履修や外部へのフィールドワーク、共同研究などの成果に対して単位認定を行う科目です。特に、社会人入学試験による入学者・中央大学以外の大学院博士前期（修士）課程出身者・外国人留学生には履修を推奨します。履修にあたっては申請書の提出が必要です。詳細は Cplus を確認してください。

<2>課程博士学位候補資格

博士論文を提出するためには課程博士学位候補資格の認定を受ける必要があります。課程博士学位候補資格は、本学総合政策研究科博士後期課程に 1 年以上在学し、課程博士学位候補資格認定試験に合格した人に与えられます。課程博士学位候補資格認定試験の受験資格、試験科目及び実施については、巻末の「中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻課程博士学位候補資格認定に関する基準」を参照してください。

なお、課程博士学位候補資格認定試験は、6 月と 11 月の年 2 回実施します。

<3>博士学位請求論文

(1) 博士学位請求論文の提出が可能になるための条件など

- 1) 博士後期課程在学の方で課程博士学位候補資格審査試験に合格していること（休学者を除く）
- 2) 指導教授により、当該論文が大学が定めた方法により剽窃等がないかの確認を受けていること。
- 3) 専攻する分野によっては、博士学位請求論文提出までに留意すべき事項などがある場合があります。指導教授に相談してください。

(2) 審査過程

博士学位請求論文は、総合政策研究科委員会において審査されます。指導教授を通じて提出された博士学位請求論文は、以下の審査過程を経て学位授与が決定されます。

- 1) 博士学位請求論文の審査委員選出（主査1名、副査2名、外部副査1名（他大学等の研究者などにより構成））
- 2) 博士学位請求論文の論文審査開始
- 3) 公聴会、口頭試問
- 4) 論文審査及び口頭試問結果の委員会報告
- 5) 4) に基づき審査・審議のうえ、投票により博士学位授与を決定

(3) 申請書類等

博士学位申請書5部（所定様式）、履歴書5部（所定書式、原本他に4部）、博士学位請求論文5部、博士学位請求論文要旨5部、博士論文のインターネット公表（中央大学学術リポジトリ掲載）および複写請求に関する確認書1部

注）博士学位請求論文及び博士学位請求論文要旨は、任意書式となり、ページ制限等ありません。指導教授と相談のうえ、作成してください。

(4) 申請時期

随時申請可能です。ただし、博士学位請求論文を提出した年度内での博士学位授与を希望される場合は、審査期間との関係から、1月中旬までとなります。詳細はWebサイト「文系大学院掲示板」（学位）に掲載します。

(5) 学位授与の時期

学位授与の時期は、原則として年度末である3月下旬に行われます。なお、場合により7月下旬または8月上旬に行われる場合もあります。

(6) 学位授与後の博士論文の取り扱い

学位授与後、博士論文は、本学学術リポジトリを利用してインターネット公表されます。また、国立国会図書館には電子版が、また本学図書館には上製本が収蔵され、広く一般に公開されます。そのため、原則、学位授与日に、本学図書館に収蔵するための博士学位論文を1冊と国立国会図書館に収蔵するための当該論文の「全文」の電子データを大学院事務室に提出していただきます。なお、両図書館等において、上製本に対する複写請求などがあった場合には、著作権法上の範囲内（論文総ページ数の2分の1以下）での複写が許可されます。この範囲を超えての複写については、執筆者の許可の有無によります。そのため、予めこの著作権法上の範囲を超える執筆についての許可の有無をお伺いし、後日の複写許諾請求時の時々において、大学院事務室及び本学図書館が複写許諾請求者からの問い合わせに対応できるようにします。

(7) その他

最終在学年次である6年次生として在学する年度の3月までに、博士学位申請を行った場合は、審査のうえ、翌年度中に博士学位が授与される場合があります。この場合、3月末日をもって、退学届を提出した方（退学届を提出せず除籍者となった者は除く）で、満期退学の取り扱いとなりますが、審査の結果、博士学位が授与された場合、3月末日にさかのぼり、博士後期課程修了の取り扱いとなります。なお、学位授与日については、博士学位授与日となります。

<4>カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各授業科目が、「修了するにあたって備えるべき知識・能力」のどの項目と関連するのか、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

詳細は本学公式Webサイトにてご確認ください。

<5>研究科設置科目一覧

特殊研究（法政策分野）

授業科目名	英字授業科目名	単位数	担当者	
特殊研究Ⅰ（外交史）	History of DiplomacyⅠ	4	教授	服部 龍二
特殊研究Ⅱ（外交史）	History of DiplomacyⅡ	4	教授	服部 龍二
特殊研究Ⅰ（比較憲法研究）	Comparative Constitutional LawⅠ	4	教授	宮下 紘
特殊研究Ⅱ（比較憲法研究）	Comparative Constitutional LawⅡ	4	教授	宮下 紘
特殊研究Ⅰ（政治心理学）	Political PsychologyⅠ	4	教授	荒井 紀一郎
特殊研究Ⅱ（政治心理学）	Political PsychologyⅡ	4	教授	荒井 紀一郎
特殊研究Ⅰ（EU法政策理論研究）	Theoretical Study on EU Law and PolicyⅠ	4	教授	庄司 克宏
特殊研究Ⅱ（EU法政策理論研究）	Theoretical Study on EU Law and PolicyⅡ	4	教授	庄司 克宏
特殊研究Ⅰ（国際関係論）	International RelationsⅠ	4	准教授	籠谷 公司
特殊研究Ⅱ（国際関係論）	International RelationsⅡ	4	准教授	籠谷 公司

特殊研究（公共政策研究）

授業科目名	英字授業科目名	単位数	担当者	
特殊研究Ⅰ（地球循環システム研究）	Environmental Earth ScienceⅠ	4	教授	平野 廣和
特殊研究Ⅱ（地球循環システム研究）	Environmental Earth ScienceⅡ	4	教授	平野 廣和
特殊研究Ⅰ（市民社会研究）	Studies on Civil SocietyⅠ	4	教授	目加田 説子
特殊研究Ⅱ（市民社会研究）	Studies on Civil SocietyⅡ	4	教授	目加田 説子
特殊研究Ⅰ（社会学研究）	Social behavior and SocietyⅠ	4	教授	篠木 幹子
特殊研究Ⅱ（社会学研究）	Social behavior and SocietyⅡ	4	教授	篠木 幹子
特殊研究Ⅰ（金融政策研究）	Monetary Theory and PolicyⅠ	4		休講
特殊研究Ⅱ（金融政策研究）	Monetary Theory and PolicyⅡ	4		休講
特殊研究Ⅰ（情報通信政策研究）	Research on ICT PoliciesⅠ	4	教授	実積 寿也
特殊研究Ⅱ（情報通信政策研究）	Research on ICT PoliciesⅡ	4	教授	実積 寿也
特殊研究Ⅰ（現代財政）	Public Finance: Principle and Practice of Public GovernanceⅠ	4		休講
特殊研究Ⅱ（現代財政）	Public Finance: Principle and Practice of Public GovernanceⅡ	4		休講
特殊研究Ⅰ（都市と地域の経済分析）	Regional and Urban EconomicsⅠ	4	教授	川崎 一泰
特殊研究Ⅱ（都市と地域の経済分析）	Regional and Urban EconomicsⅡ	4	教授	川崎 一泰
特殊研究Ⅰ（環境リスク・ガバナンス論）	Risk Governance on Environmental IssuesⅠ	4	教授	青柳 みどり
特殊研究Ⅱ（環境リスク・ガバナンス論）	Risk Governance on Environmental IssuesⅡ	4	教授	青柳 みどり
特殊研究Ⅰ（計量経済学の応用）	Applied EconometricsⅠ	4	教授	福重 元嗣
特殊研究Ⅱ（計量経済学の応用）	Applied EconometricsⅡ	4	教授	福重 元嗣

特殊研究（経営政策研究）

授業科目名	英字授業科目名	単位数	担当者	
特殊研究Ⅰ（経営財務研究）	Corporate FinanceⅠ	4	教授	佐々木 隆文
特殊研究Ⅱ（経営財務研究）	Corporate FinanceⅡ	4	教授	佐々木 隆文
特殊研究Ⅰ（コーポレート・ガバナンスと企業経営）	Corporate Governance and Corporate StrategyⅠ	4	教授	青木 英孝
特殊研究Ⅱ（コーポレート・ガバナンスと企業経営）	Corporate Governance and Corporate StrategyⅡ	4	教授	青木 英孝
特殊研究Ⅰ（多国籍企業研究）	Multinational CorporationsⅠ	4	准教授	林 正
特殊研究Ⅱ（多国籍企業研究）	Multinational CorporationsⅡ	4	准教授	林 正

特殊研究（歴史文化研究）

授業科目名	英字授業科目名	単位数	担当者	
特殊研究Ⅰ（日本社会の歴史と民俗）	Japanese History and FolkroeⅠ	4	教授	岩田 重則
特殊研究Ⅱ（日本社会の歴史と民俗）	Japanese History and FolkroeⅡ	4	教授	岩田 重則
特殊研究Ⅰ（日本・東アジア関係史）	Japan East Asia RelationsⅠ	4		休講
特殊研究Ⅱ（日本・東アジア関係史）	Japan East Asia RelationsⅡ	4		休講
特殊研究Ⅰ（イスラームの法と社会）	Law and Society in IslamⅠ	4	教授	櫻井 秀子
特殊研究Ⅱ（イスラームの法と社会）	Law and Society in IslamⅡ	4	教授	櫻井 秀子
特殊研究Ⅰ（スポーツ文化諸相の研究）	Sport for Social DevelopmentⅠ	4	教授	小林 勉
特殊研究Ⅱ（スポーツ文化諸相の研究）	Sport for Social DevelopmentⅡ	4	教授	小林 勉
特殊研究Ⅰ（東南アジア地域研究）	Southeast Asian Area StudiesⅠ	4		休講
特殊研究Ⅱ（東南アジア地域研究）	Southeast Asian Area StudiesⅡ	4		休講
特殊研究Ⅰ（ロシア・ユーラシア地域研究）	Russian and Eurasian StudiesⅠ	4	教授	伊賀上 菜穂
特殊研究Ⅱ（ロシア・ユーラシア地域研究）	Russian and Eurasian StudiesⅡ	4	教授	伊賀上 菜穂
特殊研究Ⅰ（法と人類学）	Law and AnthropologyⅠ	4	准教授	高野 さやか
特殊研究Ⅱ（法と人類学）	Law and AnthropologyⅡ	4	准教授	高野 さやか
特殊研究Ⅰ（社会思想・倫理）	Social Philosophy and EthicsⅠ	4	准教授	横山 陸
特殊研究Ⅱ（社会思想・倫理）	Social Philosophy and EthicsⅡ	4	准教授	横山 陸
特殊研究Ⅰ（移民研究・マイノリティ研究）	Migration Studies & Racial and Ethnic Minority StudiesⅠ	4	教授	李 里花
特殊研究Ⅱ（移民研究・マイノリティ研究）	Migration Studies & Racial and Ethnic Minority StudiesⅡ	4	教授	李 里花

上級学術研究

授業科目名	英字授業科目名	単位数	担当者	
上級学術研究Ⅰ	Advanced Academic ResearchⅠ	2	専任教員	各指導教授
上級学術研究Ⅱ	Advanced Academic ResearchⅡ	2	専任教員	各指導教授
上級学術研究Ⅲ	Advanced Academic ResearchⅢ	2	専任教員	各指導教授
上級学術研究Ⅳ	Advanced Academic ResearchⅣ	2	専任教員	各指導教授

2. 総合政策研究科の学位審査に関する取扱要領

■総合政策研究科修士学位審査に関する取扱要領

中央大学大学院学則第6章第3節、及び中央大学学位規則に基づき、修士論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の審査、及び最終試験について、以下の通り取り扱う。

なお、修士学位の授与決定は、修士論文の評価、及び最終試験の評価について、それぞれ合格評価以上の判定を受けるとともに、所要の単位修得がなければならない。

1. 修士論文審査について

修士論文の審査は、学位授与方針を踏まえて、以下の観点について、修士学位を授与するに十分な水準にあるかどうかを審査する。なお、その評価は、S（100点～90点）、A（89点～80点）、B（79点～70点）、C（69点～60点）を合格とし、E（59点以下）を不合格とする。

項目	説明
1. 問題意識の明確さ	研究の目的が明瞭で適切と評価できるか
2. 問題意識の斬新性	研究の目的や着眼点等 to 新規性があるか
3. テーマの総合性と政策関連性	テーマに学際性や複眼的視野等が含まれていて、政策・文化の研究に関係しているか
4. テーマ設定の的確さ	設定したテーマの置き方や範囲が適切か
5. 論文の構成力	論文の組み立てが的確であり、結論が導かれているか
6. 論理的な考察力	筋道を立てて論理が展開しているか、かつ論旨に整合性があるか
7. 資料・文献の取り扱い	文献や資料が適切に使用され、引用や参考文献が正しく表記されているか
8. 先行研究に対する探求	先行研究が十分にレビューされているか
9. 研究技法の水準	研究技法や調査方法が妥当か
10. 独創性	研究テーマに対して独自の主張、指摘、または分析等が示されているか

2. 最終試験について

最終試験は、原則として口述試験にて行う。その評価は、学位授与方針を踏まえて、以下の観点について、修士学位を授与するに十分な水準にあるかどうかを審査する。なお、その評価は、S（100点～90点）、A（89点～80点）、B（79点～70点）、C（69点～60点）を合格とし、E（59点以下）を不合格とする。

項目	説明
1. プレゼンテーション能力	論文の内容を分かりやすく説明しているか
2. 質疑応答能力	試問に対して分かりやすく論理的に回答しているか
3. 修士論文に関連する知識	論文や関連する科目に関する基本的な知識を有しているか

3. 評価結果の取扱いについて

修士論文の審査結果、及び最終試験の評価結果については、成績原簿、及び成績証明書に記載する。

4. 評価結果に関する問い合わせについて

修士論文の審査結果、及び最終試験の評価結果に関する問い合わせは、「成績評価問い合わせに関する取扱要領」を準用する。

- 1) 問い合わせは、成績証明書が交付される学位授与式日より起算して2週間以内に「審査結果問い合わせ書」に基づき、自身の審査結果について、問い合わせることができる。なお、不合格者は、修了者発表日から起算する。
- 2) 問い合わせの結果、評価結果に変更が生じたときは、研究科委員会において審議・決定する。

5. その他

- 1) この取扱要領に定めのない事項については、研究科委員会において審議し、決定する。

附 則

(施行期日)

- 1 この取扱要領は、2015 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この取扱要領は、2022 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の修士論文及び最終試験に評価基準は、2022 年度入学生から適用することとし、2021 年度入学生はなお従前の例による。

■総合政策研究科博士学位審査に関する取扱要領

中央大学大学院学則第 6 章第 3 節、及び中央大学学位規則に基づき、課程による者の博士学位申請論文の審査、及び最終試験について、以下の通り取り扱う。

なお、博士学位の授与決定は、博士学位申請論文の評価、及び最終試験の評価について、それぞれ合格評価以上の判定を受けるとともに、所要の単位修得がなければならない。

1. 博士学位申請論文審査について

博士学位申請論文の評価は、学位授与方針を踏まえて、以下の観点について、博士学位を授与するに十分な水準にあるかどうかを審査し、水準に達していると認められるものを合格とする。

項目	説明
1. 問題意識・テーマ設定の明確性	博士学位にふさわしく研究の目的が明瞭で適切と評価できるか。また、設定したテーマには博士学位にふさわしい学問的・社会的意義が含まれているか
2. 独創性・斬新性	博士学位にふさわしく研究のテーマ、目的、分析や結論等に独自性や斬新さが含まれているか
3. テーマの総合性と政策関連性	テーマに学際性や複眼的視野が含まれていて、政策・文化に関する論文として、博士学位にふさわしいか
4. 論文の構成力・論理性	博士学位にふさわしく論文の構成が的確であり、論理の展開に整合性・一貫性があるか
5. 資料や文献・研究技法の適切性	博士学位にふさわしく文献、資料、注、図表、引用等の取扱いが適切に行われ、かつ高度な研究技法や調査方法が用いられているか
6. 先行研究に基づく探求や学界への貢献性	博士学位にふさわしく先行研究の十分なレビューに基づく探求がなされ、学界や社会への貢献が期待できる内容になっているか

2. 最終試験について

最終試験は、原則として口述試験にて行う。学位授与方針を踏まえて、以下の観点について、博士学位を授与するに十分な水準にあるかどうかを審査し、水準に達していると認められるものを合格とする。

項目	説明
1. プレゼンテーション能力	論文の内容を分かりやすく説明しているか
2. 質疑応答能力	試問に対して分かりやすく論理的に回答しているか
3. 博士論文に関連する知識	論文や関連する科目に関して博士学位にふさわしい高度な知識を有しているか

3. 評価結果の取扱いについて

博士学位請求論文の審査結果、及び最終試験の評価結果については、成績原簿、及び成績証明書に記載する。

4. 評価結果に関する問い合わせについて

博士学位申請論文の審査結果、及び最終試験の評価結果に関する問い合わせは、「成績評価問い合わせに関する取扱要領」を準用する。

- 1) 問い合わせは、学位授与式日より起算して 2 週間以内に「審査結果問い合わせ書」に基づき、自身の審査結果について、問い合わせることができる。なお、不合格者については、博士学位授与決定日から起算する。
- 2) 問い合わせの結果、評価結果に変更が生じたときは、研究科委員会において審議・決定する。

5. その他

- 1) この取扱要領に定めのない事項については、研究科委員会において審議し、決定する。
- 2) この取扱要領は、2015 年 4 月 1 日から施行する。

3. 総合政策研究科の学位授与方針に基づく知識・能力の到達度評価表

到達度評価表は、ディプロマ・ポリシーと学位審査基準との連関を示すものです。

■総合政策研究科博士前期課程

学位授与方針に示す博士前期課程を修了するにあたって備えるべき知識・能力

DP 1	政策分析能力 政策研究に必要な基礎知識を備えた上で、専門領域に関する分析を複眼的視野から行うことができる。
DP 2	異文化理解能力 地域毎に大きく異なる民族、文化、言語・宗教などの違いを理解し、民族および個人の多様な価値観を尊重した上で、文化の諸領域にかかわる研究を遂行できる。
DP 3	実践的提案力 社会が抱える諸問題の解決方法を複眼的な思考から導き出し、あらゆる文化・社会に適応する、実践的な提案ができる。

到達度評価表

		学位授与方針に示す博士前期課程を 修了するにあたって備えるべき知識・能力		
		DP 1	DP 2	DP 3
修士論文 審査項目	(1) 問題意識の明確さ 研究の目的が明瞭で適切と評価できるか			○
	(2) 問題意識の斬新性 研究の目的や着眼点等に新規性があるか			○
	(3) テーマの総合性と政策関連性 テーマに学際性や複眼的視野等が含まれていて、 政策・文化の研究に関係しているか	○	○	○
	(4) テーマ設定の的確さ 設定したテーマの置き方や範囲が適切か	○	○	○
	(5) 論文の構成力 論文の組み立てが的確であり、結論が導かれているか	○	○	○
	(6) 論理的な考察力 道を立てて論理が展開しているか、かつ論旨に整合性があるか			○
	(7) 資料・文献の取り扱い 文献や資料が適切に使用され、引用や参考文献が正しく 表記されているか			○
	(8) 先行研究に対する探求 先行研究が十分にレビューされているか			○
	(9) 研究技法の水準 研究技法や調査方法が妥当か			○
	(10) 独創性 研究テーマに対して独自の主張、指摘、または分析等が 示されているか			○
最終試験 審査項目	(1) プレゼンテーション能力 論文の内容を分かりやすく説明しているか			○
	(2) 質疑応答能力 試問に対して分かりやすく論理的に回答しているか			○
	(3) 修士論文に関連する知識 論文や専門分野に関する基本的な知識を有しているか	○	○	○

■総合政策研究科博士後期課程 2023年度以降入学生

学位授与方針に示す博士後期課程を修了するにあたって備えるべき知識・能力

D P 1	政策提案力 学際複合的な視点から各分野における政策への対応が実現できるような専門知識と実践能力を備え、実務において問題解決志向的なアプローチに基づいた政策提案ができる。
D P 2	学問開拓力 専門分野に関する知識と複眼的かつ深い思考で、政策と文化を統合する「総合政策」という学問分野を新たに開拓できる。

到達度評価表

博士（総合政策）		学位授与方針に示す博士後期課程を 修了するにあたって備えるべき知識・能力	
		D P 1	D P 2
博士論文 審査項目	(1) 問題意識・テーマ設定の明確性 博士学位にふさわしく研究の目的が明瞭で適切と評価できるか。また、設定したテーマには博士学位にふさわしい学問的・社会的意義が含まれているか		○
	(2) 独創性・斬新性 博士学位にふさわしく研究のテーマ、目的、分析や結論等に独自性や斬新さが含まれているか		○
	(3) テーマの総合性 テーマに学際性や複眼的視野が含まれていて、政策・文化に関する論文として、博士学位にふさわしいか		○
	(4) 論文の構成力・論理性 博士学位にふさわしく論文の構成が的確であり、論理の展開に整合性・一貫性があるか		○
	(5) 資料や文献・研究技法の適切性 博士学位にふさわしく文献、資料、注、図表、引用等の取扱いが適切に行われ、かつ高度な研究技法や調査方法が用いられているか		○
	(6) 先行研究に基づく探求や学界への貢献性 博士学位にふさわしく先行研究の十分なレビューに基づく探求がなされ、学界や社会への貢献が期待できる内容になっているか		○
最終試験 審査項目	(1) プレゼンテーション能力 論文の内容を分かりやすく説明しているか		○
	(2) 質疑応答能力 試問に対して分かりやすく論理的に回答しているか		○
	(3) 博士論文に関連する知識 論文や関連する科目に関して博士学位にふさわしい高度な知識を有しているか	○	

2022年度以前入学生

学位授与方針に示す博士後期課程を修了するにあたって備えるべき知識・能力

D P 1	政策提案力 学際複合的な視点から各分野における政策への対応が実現できるような専門知識と実践能力を備え、実務において問題解決志向的なアプローチに基づいた政策提案ができる。
D P 2	学問開拓力 専門分野に関する知識と複眼的かつ深い思考で、政策と文化を統合する「総合政策」という学問分野を新たに開拓できる。

到達度評価表

博士（総合政策）／博士（学術）		学位授与方針に示す博士後期課程を修了するにあたって備えるべき知識・能力	
		D P 1	D P 2
博士論文 審査項目	(1) 問題意識・テーマ設定の明確性 博士学位にふさわしく研究の目的が明瞭で適切と評価できるか。また、設定したテーマには博士学位にふさわしい学問的・社会的意義が含まれているか		○
	(2) 独創性・斬新性 博士学位にふさわしく研究のテーマ、目的、分析や結論等に独自性や斬新さが含まれているか		○
	(3) テーマの総合性 テーマに学際性や複眼的視野が含まれていて、政策・文化に関する論文として、博士学位にふさわしいか		○
	(4) 論文の構成力・論理性 博士学位にふさわしく論文の構成が的確であり、論理の展開に整合性・一貫性があるか		○
	(5) 資料や文献・研究技法の適切性 博士学位にふさわしく文献、資料、注、図表、引用等の取扱いが適切に行われ、かつ高度な研究技法や調査方法が用いられているか		○
	(6) 先行研究に基づく探求や学界への貢献性 博士学位にふさわしく先行研究の十分なレビューに基づく探求がなされ、学界や社会への貢献が期待できる内容になっているか		○
最終試験 審査項目	(1) プレゼンテーション能力 論文の内容を分かりやすく説明しているか		○
	(2) 質疑応答能力 試問に対して分かりやすく論理的に回答しているか		○
	(3) 博士論文に関連する知識 論文や関連する科目に関して博士学位にふさわしい高度な知識を有しているか	○	

総合政策研究科に関する基準

中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻課程博士学位候補資格認定に関する基準

(趣旨)

第1条 この基準は、中央大学総合政策研究科総合政策専攻博士（後期）課程における標準修業年限（3年）の研究成果を客観的基準に照らして審査し、その合格をもって課程博士の学位を請求するに十分な研究能力を有していると認定し、所定の期間内に学位請求論文を提出するよう奨励するための、課程博士学位候補資格の認定に関し、必要な事項を定める。

(博士論文作成の要件)

第2条 博士論文を作成しようとする者は、その資格を認定するために行う課程博士学位候補資格認定試験（以下「試験」という。）に合格しなければならない。

(受験資格)

第3条 試験を受けようとする者は、次の各号の要件を満たしていなければならない。

- 一 本大学院博士課程後期課程に一年以上在学し、研究指導を受けていること。
- 二 出願までに、国内外のレフリード・ジャーナル又は本大学院の研究年報等に少なくとも二本の優れた論文を公表（予定を含む。）していること。
- 三 指導教授又は研究科委員長の出願許可が得られていること。

(試験の実施時期)

第4条 試験は、毎年2回、日時を指定して前期及び後期の学期中に行う。

2 前条第一号の規定にかかわらず、中央大学大学院学則（以下学則という）及び中央大学学位規則（以下規則という）に定める優れた研究業績を上げたと認められた者については、研究科委員会の議を経てその他の時期に試験を行うことができる。

(出願)

第5条 試験を受けようとする者は、受験する年次等について指導教授と相談のうえ、所定の出願書類を研究科が定める期日までに、大学院事務室に提出しなければならない。

2 受験の可否は、研究科委員会において決定する。

(試験)

第6条 試験は、筆答試験及び口述試験により行う。

- 2 筆答試験は、英語により行う。
- 3 口述試験は、公表論文等に関して行う。
- 4 第2項の規定にかかわらず、研究科委員会が特に認めた場合には、筆答試験を免除することができる。

(資格審査委員会)

第7条 課程博士学位候補資格（以下「資格」という。）の審査を行うため、研究科委員会に資格審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、指導教授を委員長とし、ほかに研究科委員会が指名する2人以上の副査を加えて構成する。
- 3 前項に定める副査については、規則第10条第2項の規定を適用することができる。
- 4 委員会は、出願書類の審査、筆答試験問題の作成及び採点・評価並びに口述試験の実施及び評価を行い、その結果を研究科委員会に報告するものとする。
- 5 前項の規定にかかわらず、委員会が必要と認めた場合には、筆答試験問題の作成及び評価について、その一部を委員会委員以外の研究科委員会委員に委ねることができる。

(資格認定の決定)

第8条 資格の認定は、研究科委員会の議を経て決定する。

2 決定の内容及び第6条の試験結果は、研究科委員長名により本人に通知する。

(資格の有効期限)

第9条 資格の有効期限は、学則第18条第1項第一号に定める博士課程の後期課程に在学できる6年次までとする。

2 資格の認定を受けた者の学則第26条による休学又は第29条による退学（3年以上在学後の退学に限る。）をした場合の資格は、その期間中も継続するものとする。

(試験の再受験)

第10条 第6条に定める試験の結果、不合格の評価を受けた科目（口述試験を含む。）については、在学期間中に再受験することができる。

- 2 不合格の評価を受けた者が、3年以上在学して退学した場合は、再入学後の在学期間中に再受験することができる。
- 3 前項により、再受験をしようとする者は、第5条第1項の手続きを行い、研究科委員会の承認を得なければならない。

(資格取得者の博士論文の作成)

第 11 条 資格の認定を受けた者は、指導教授の研究指導を受けたうえ、第 9 条に定める資格の有効期間内に博士論文を作成しなければならない。

2 資格取得後、3 年以上在学して退学した者が、前項の期間内に指導教授の研究指導を受けて博士論文を作成し、提出するには、別に定めるところにより再入学しなければならない。

3 前項により作成し提出された博士論文は、中央大学学位規則第 4 条第 1 項の規定を適用する。ただし、資格を取得した者が、再入学をしないで博士論文を提出した場合には、中央大学学位規則第 4 条第 2 項の規定を適用する。

(改廃)

第 12 条 この基準の改廃は、研究科委員会の議を経なければならない。

(事務の所管)

第 13 条 この基準に関する事務は、大学院事務室が所管する。

附 則

(施工期日)

1 この基準は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この基準に拠る改正後の第 6 条第 2 項及び第 4 項は、令和 3 年 4 月 1 日以降の入学生から適用し、令和 2 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

多摩キャンパスマップ

① 多摩都市モノレール「中央大学・明星大学」駅

② モノレール口

③ グリーンテラス

2F: キャリアセンター事務局

キャリア支援課

エクステンションセンター事務局

(中央大学出版部)

クレセント・アカデミー事務局

④ 東門

⑤ 4号館

⑥ E1門プロムナード

⑦ FOREST GATEWAY CHUO

2F: ダイバーシティセンター事務局

ダイバーシティスクエア

⑧ Cスクエア

4F: 学友会事務局

⑨ 3号館

3F: 文学部事務局

教職事務局

国際経営学部事務局

⑩ 1号館

5F: 総務部

総務課

法人秘書室

人事部

学事課

学事・社会連携課

父母連絡会事務局

企画課

初書課

4F: 総合戦略室

総務部

校務課

経理課

経理課

資金課

管財部

管財課

学事課

研究助成課

研究支援室

多摩研究支援課

広報室

広報課

3F: 総務部

庶務課

スポーツ振興・強化推進事務局

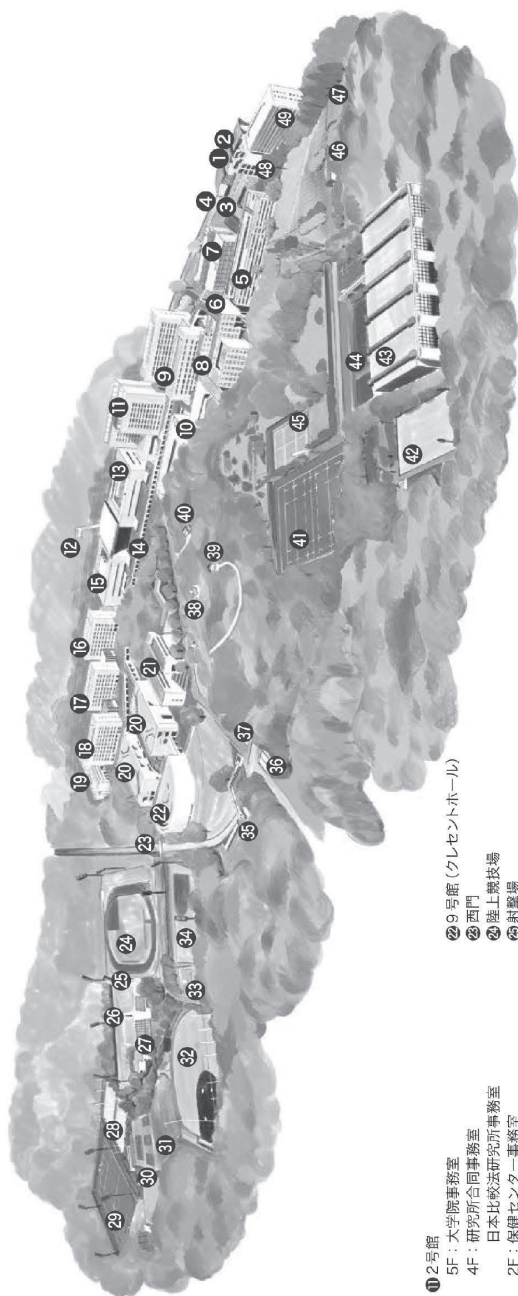
内部監査室

ハラスメント防止啓発支援室

1F: 入学生センター事務局

入試課

入学企画課



⑪ 2号館

5F: 大学院事務局

4F: 研究所合同事務局

日本比較法研究所事務局

2F: 保健センター事務局

情報環境設備センター事務局

多摩1号センター事務局

1F: 映像言語メディアラボ

⑫ 北門 (京王線「多摩動物公園」駅方面)

⑬ 中央図書館

2F: 図書総務部

総務課

情報資料課

閲覧課

⑭ セントラルプラザ

⑮ ヒルトアップ'78

(大学生協、食堂、喫茶店、G²<G Square>)

⑯ 5号館

1F: 経営学部事務局

B1F: 全学連携教育機構事務局

学生部

学生相談課

ボランティアセンター

⑰ 6号館

1F: 通信教育センター事務局

B1F: 学生部

学生生活課

奨学課

⑱ 7号館

1F: 経済学部事務局

B1F: 資料館事務局

⑲ 炎の塔

2F: 法と正義の資料館

大学史料館

1F: 経理研究所事務局

⑳ 8号館 (大教室)

㉑ 11号館

3F: 総合政策学部事務局

㉒ 9号館 (クレセントホール)

㉓ 西門

㉔ 陸上競技場

㉕ 射撃場

㉖ 一般フィールド A

㉗ 第2体育館

(アリーナ、温水プール、エアリアルフル射撃場)

㉘ テニスコート

㉙ サッカー場

㉚ ハンドボールコート、テニスコート、ゴルフ教場

㉛ 一般フィールド B

㉜ 硬式野球場

㉝ 雨天ヒッチング場

㉞ 軟式野球場

㉟ バスターミナル

㊱ 10号館

㊲ 正門

㊳ 創立100周年記念ステージ・校広場

㊴ 金住稲荷

㊵ 茶室「庭白庵」

㊶ ラグビー場

㊷ 馬場

㊸ 第1体育館

(アリーナ、柔剣道場、土俵、ボクシングジムなど)

2F: 体育施設運営センター事務局

㊹ 屋外プール

㊺ 屋外バレーボール、

屋外バスケットボール用コート

㊻ サークル別棟1

㊼ 弓道場

㊽ GLOBAL GATEWAY CHUO (グローバル館)

3F: 学事部

教務総合事務局

教育力研究開発機構

2F: 国際センター事務局

国際交流スペース 棟-en-

㊾ International Residence Chuo (国際教育寮)



〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

Access

①モノレール口: 多摩都市モノレール 中央大学・明星大学駅 直結

②正 門: 京王相模原線・小田急多摩線 多摩センター駅より

京王バス12分 豊田駅南口行/中央大学バス停 下車

③西 門: JR中央線 豊田駅より

京王バス8分 多摩センター駅行/中央大学バス停 下車

④北 門: 京王動物園線 多摩動物公園駅 徒歩10分

緊急時の避難について

災害その他緊急の事態が発生した場合は、次のように行動してください。

(1) 緊急事態が発生した場合は、すべて大学から緊急放送でお知らせしますので、指示に従って冷静に行動してください。

(2) 大地震の際の行動マニュアル

I. 大地震が起きた場合の基本行動

- 地震の主震動は1分～2分程度であるため、落ち着いて行動する。
- 余震があることも頭に入れておく。
- 衣類・持ち物等で頭を覆い、落下物（黒板・モニター・蛍光灯等）や転倒物から身を守る。
- ドア付近の人はドアを開け、出口を確保する。

II. 避難する場合の基本行動

【屋内から屋外への避難】

- ① 出口に殺到しないで整然と避難する。
- ② 身体障害者や負傷者がいる場合は、周りの学生とサポートをする。
- ③ 停電した場合、誘導灯を目印に避難する。
- ④ 避難には、必ず階段を使用する。その際には、姿勢を低く保つ。
- ⑤ ドアを開放したまま避難する。ただし、火災が発生し消火不能の場合はドアを閉めて避難する。
- ⑥ 煙が発生したら煙を吸わないよう、ハンカチ等を口と鼻にあて、姿勢を低くして避難する。

【屋外から避難場所への避難】

- ① 衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守る。
- ② 窓ガラス・外壁・看板等の落下物に注意する。
- ③ 地面の亀裂や陥没、隆起に注意する。

多摩キャンパス

避難場所	号館、棟別
桜広場	1号館、2号館、中央図書館、8号館、9号館、10号館、11号館、ヒルトップ'78
ラグビー場	3号館、4号館、第1体育館、サークル棟別棟(1)、Cスクエア、グリーンテラス、弓道場、馬房、グローバル館、FOREST GATEWAY CHUO、国際教育寮
陸上競技場	5号館、6号館、7号館、炎の塔、第2体育館、サークル棟別棟(2)(3)

※各号館・各棟に避難場所が掲示されていますので、ご確認ください。

茗荷谷キャンパス

地震等の災害により停電が発生し、帰宅困難なケースの構内一時待機場所は以下となります。

1 階：エントランスホール・茗荷谷スチューデントハブ

B1階：学生食堂・購買

※緊急放送でお知らせしますので、その指示に従ってください。

2025年3月

【中央大学 大学院事務室】

経済学・商学・文学・総合政策研究科（多摩キャンパス）

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

TEL. 042-674-2613

法学研究科（茗荷谷キャンパス）

〒112-8631 東京都文京区大塚1-4-1

TEL. 03-5978-4143

CHUO UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOLS

Courses catalog & Programs of study

2025-2026

Global Infomatics